

今回のフェスティバルは、出展企業などによる協賛金と、一部は二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における草の根活動支援事業)による支援事業により実施された。里山など自然の理解を促す

教育プログラムがより充実し、薪ストーブペレットなど新たな利用に関わる展示やシンポジウムが開催された。(図はいずれも自然史フェスティバル2014の催事風景)



自然史博物館では、これまでも大阪自然史センターや日本野鳥の会大阪支部と連携して3回のバードフェスティバル、その他の小規模フェスティバル2回

を含め11回実施してきた。この蓄積は大阪の自然関連団体の活性化と博物館との連携強化におおきく貢献している。

ホネホネサミット2014



3度目の開催となる脊椎動物標本作成者の交流イベント「ホネホネサミット2014」は2014年10月12-13日に開催(13日は台風により中止)された。市

民の学術交流拠点としての大阪市立自然史博物館の役割は全国的にも重要視されている。(図はホネホネサミット2014より)

